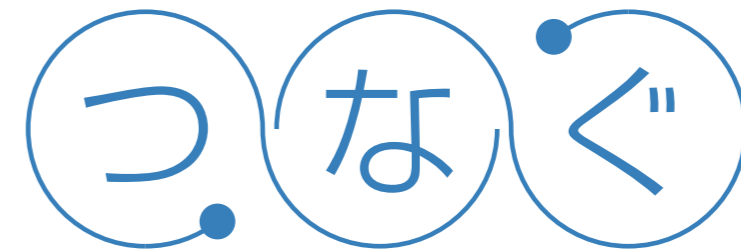




関西医科大学と地域をつなぐ連携誌



+ believe

Special issue 特別号 2015

NEW Doctor's File

ニュードクターズ・ファイル 2015

頼れる医師をご紹介します。

附属枚方病院
麻酔科（区域麻酔担当）
（4月1日着任）
中本 達夫
チカホ タツオ



超音波エコーを使った「区域麻酔」の手技を体系化したい。

超音波を使いながら、神経ブロックする手技を学ぶ場は日本ではまだ充分ではありません。「区域麻酔」の基礎的なことから臨床とその応用までの縦断的な体系化をすること。そして慢性痛を治したいというのが私のテーマです。他科の先生と協力し、薬物療法を併用しながら、慢性化した痛みを消す方法も探りたいと思っています。

プロフィール

- 学歴
 - 平成4年3月 大阪市立大学医学部 卒業
 - 平成6年3月 大阪市立大学大学院医学研究科外科系専攻卒業、医学博士の学位を戴く
- 職歴
 - 平成12年11月 オーストラリアメルボルンAustin and Repatriation Medicalへ留学
 - 平成18年 4月 大阪市立住吉市民病院 麻酔科 副部長
 - 平成23年 4月 大阪労災病院 麻酔科 第三部長
 - 平成25年 4月 大阪労災病院 麻酔科 ベイックリニック科部長
 - 平成27年4月より現職
- 所属学会等役職
 - 日本麻酔科学会（指導医、専門医、ペイン・局所麻酔WGメンバー）
 - 日本臨床麻酔学会（超音波ガイド下神経ブロック認定インストラクター）
 - 日本ベックリニック学会（専門医）
 - 日本区域麻酔学会（評議員）
 - 日本心療内科学会（登録医）
 - 日本緩和医療学会 等

附属枚方病院
麻酔科（心臓血管麻酔担当）
診療教授（1月1日着任）
中嶋 康文
ナカシマ ヒロフミ



「術後の負担が何もない」そんな患者さんの声を開業医の先生に届けたい。

私の専門は心臓血管麻酔です。多数のモニターに囲まれながら、麻酔を行っております。直接お話しする機会が少ない麻酔医だからこそ、最善の治療ができていのかどうか、術後も痛みがないかどうか、できるだけ早く日常生活に戻るかどうか、家族に置き換えて患者さんと対峙することを大切にしています。

プロフィール

- 学歴
 - 平成 4年3月 京都府立医科大学 卒業
 - 平成10年3月 京都府立医科大学大学院 修了
 - 平成11年2月 医学博士
- 職歴
 - 平成12年4月 京都府立医科大学助教
 - 平成13年9月 アメリカ合衆国アイオワ大学リサーチアシソシエイト
 - 平成14年4月 アメリカ合衆国スクリプス研究所リサーチアシソシエイト
 - 平成19年4月 京都府立医科大学学内講師
 - 平成25年4月 京都府立医科大学講師
 - 平成27年1月 関西医科大学診療教授
- 主な所属団体
 - 日本麻酔科学会（循環器ワーキンググループ委員、指導医、専門医）
 - 日本心臓血管麻酔学会（理事、止血凝固部門委員、専門医試験問題委員、正式専門医）
 - JBPO T（試験問題委員、日本周術期経食道心エコー認定医）
 - 日本集中治療医学会（専門医）
 - merican Society of Anesthesiologists

この度は「第3回 関西医科大学連携病院の会」にご出席賜りありがとうございます。

本日は大変お忙しい中「第3回 関西医科大学連携病院の会」に御参集いただきありがとうございました。

本会の第一部は衆議院議員 佐藤ゆかり先生の「これからの社会保障」と題したご講演、次いで厚生労働省 迫井正深先生に「地域包括ケアシステムから見た病院医療」と題してご講演をいただき、その後、附属3病院長から各病院の近況報告を予定しております。また、第二部では懇親の場を設けさせていただきました。本日御参集の皆様方にはお時間のある限り本会をお楽しみいただきたく思います。また、本会が皆様方の日常診療にすこしでもお役に立てば主催者の一人として望外の喜びです。

今後とも関西医科大学 附属枚方病院は地域に開かれた敷居の低い特定機能病院として、高度・先進医療を担いながら皆様と共に歩みたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

関西医科大学
附属枚方病院
病院長 澤田 敏



関西医科大学 附属枚方病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HIRAKATA HOSPITAL

TEL.072-804-0101(代) <http://www.kmu.ac.jp/hirakata>
〒573-1191 大阪府枚方市新町2-3-1
TEL.072-804-2742 FAX.072-804-2861

「第3回 関西医科大学連携病院の会」にご出席いただいた皆様へ



関西医科大学 附属枚方病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HIRAKATA HOSPITAL

附属枚方病院のご案内



安全を第一に、高度な医療サービスを提供いたします。

附属枚方病院は2006年1月に開院以来、特定機能病院としてスタートしました。2006年10月には災害拠点病院に、また2008年2月には救命救急センターを整備、さらに2010年4月にはがん診療連携拠点病院として認可されました。そして2012年5月には救命救急センターが高度救命救急センターとして認可され、北河内地区の中核病院としての役割を果たしています。

当院は臓器別診療体制や、総合周産期母子医療センター、内視鏡センターなどのセンター化運用による高度先進医療を行っており、全ての人に平等で開かれた、安全・安心で最新の医療の提供に努めています。最近では昨年4月に化学療法と緩和ケアの両側面からがん治療に取り組むがん治療・緩和センターをスタートさせ、今年7月からは、すべてのがんに対応する先進の放射線治療、IMRTを導入しました。

また今年9月には内科系と外科系の領域を超え有機的に連携する小児医療センター、人工透析が必要にならないための治療や合併症に対処する腎センターを開院いたしました。

加えて麻酔科診療教授の招聘による手術体制の強化など、さらなる機能強化、高度先進医療の推進に取り組み、これからも大学病院としての社会的責務を果たしてまいります。

病院概要

病院長：澤田 敏

副病院長：松田 公志

岡崎 和一

権 雅憲

開設：2006年1月1日

特定機能病院：2006年1月1日承認

病床数：751床（一般病棟）

敷地面積：31,611㎡

新センターを開院いたしました。

今年9月1日開設

小児医療センター

小児医療に特化した医師や看護師が、内科系疾患・外科系疾患に関係なく有機的に連携することで、的確かつ安全な高度先進医療を提供できるという理念に基づき、平成27年9月に「小児医療センター」を設立することとなりました。

目的

- ・これまで以上に高度で安全かつ効率的な医療を提供する。
- ・病氣の子どもを支える家族にも、より一層配慮する。
- ・新生児から思春期にいたる成長過程に応じた入院環境を提供する。
- ・病氣の子どもの入院生活に伴う寂しさを取り除き、闘病意欲を高める。

施設

- ・病床数：43床（PICU：6床を含む）
- ・大阪府立刀根山支援学校分教室：当センターには、大阪府立刀根山支援学校が併設されています。こどもの病状や体調、学習進度に応じて、病棟内の教室や病室のベットサイドで教育が行われています。
- ・プレイルーム：病棟に保育士が常駐し乳幼児の保育が行われています。
- ・プレイコート：軽運動や夏祭りなどの病棟内行事が行われています。



今年9月1日開設

腎センター

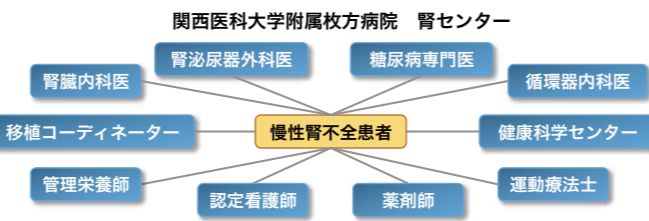
設立の趣旨

慢性腎不全（CKD）は、人工透析が必要となる危険性とともに、心血管系合併症から生命予後に影響する重要な疾患です。また、腎機能障害患者の診療には、原疾患の治療や様々な合併症に対処するために、多くの診療科・部署が協力しなければなりません。そこで、院内各部署の連携を強化し、より密度の濃い診療を提供できるように、「腎センター」を開院致しました。

腎センターの構成

腎センターは、附属枚方病院3階 K1エリア（従来の腎臓内科・腎泌尿器外科外来）に設置します。

腎センターでは、腎臓内科医、腎泌尿器外科医、糖尿病専門医、循環器内科医、健康科学センター、さらに、看護師、管理栄養士、薬剤師、運動療法士などが連携し、患者情報を共有して、以下のような、個々の患者さんにとって最適の治療を提供してまいります。



診療内容

- ・保存期腎不全患者を末期腎不全へ移行させないための予防に重点を置いた診療
- ・保存期腎不全患者や腎移植後患者に対する、健康科学センターにおける運動療法、栄養指導
- ・腎機能障害の主要な原因である糖尿病対策として、糖尿病看護認定看護師や栄養士などによる、透析予防指導、フットケア、インスリン指導
- ・腎臓内科医、腎移植専門医、シビエント移植コーディネータによる、献腎登録や先行的腎移植（透析導入前の移植）など患者に適した選択の支援
- ・低侵襲（単孔式内視鏡下ドナー腎手術）で高い生着率の腎移植の提供
- ・ドナー専門外来、腎移植患者会など、ご家族を含めた診療と支援
- ・地域医療機関と協力した在宅腹膜透析

NEW

Doctor's File

ニュードクターズ・ファイル 2015

頼れる医師をご紹介します。

附属枚方病院
産科・婦人科・婦人科内視鏡外科
診療部長（4月1日就任）
岡田 英孝
（オカダ ヒデアキ）



附属枚方病院だからこそできること。

私たち附属枚方病院の強みは、婦人科腫瘍、周産期（産科）、不妊を扱う生殖医療、この3つの分野がちゃんと機能していること。さらに「生殖医療センター」と「総合周産期母子医療センター」も持ち、妊娠と出産の管理、体外受精などの先進医療も行っていることです。大学病院だからできる医療の連携を深めていきたいと思えます。

プロフィール

●学歴

平成5年 関西医科大学 卒業

●職歴

平成5年 関西医科大学産科婦人科教室に入局

平成7年 同大学助手

平成13年 IVF大塚クリニック医長

平成15年 オーストラリア・ブリスベン・ヘンリー医学研究所に留学

平成17年 兵庫医科大学臨床遺伝部非常勤講師

平成17年 関西医科大学講師

平成25年 同大学准教授

平成27年 4月1日付で関西医科大学産科婦人科学講座主任教授に就任

●所属学会等役職

日本産科婦人科学会（産婦人科専門医）

日本生殖医学会（生殖医療専門医・代議員）

日本受精臨床学会（幹事・評議員）

人類遺伝学会（臨床遺伝専門医）等

NEW

Doctor's File

ニュードクターズ・ファイル 2015

頼れる医師をご紹介します。

附属枚方病院
臨床検査医学科 診療部長
（4月16日着任）
蔦 幸治
（カサノ ユキヲ）



世界に発信する臨床検査医学科へ。

最新の知識を持っているかどうか、患者さんの命を左右する分野でもあります。各臨床科とのカンファレンスも大事にしながら、既知の治療のターゲットとなる遺伝子情報を見つける体制を整え、新たな治療ターゲットとなる遺伝子異常の同定など、世界に発信できる臨床検査医学科をめざしていきたくと考えています。

プロフィール

●学歴・職歴

平成8年3月 関西医科大学 卒業

平成8年4月 聖路加国際病院 内科系研修医

平成10年4月 聖路加国際病院 病理診断部（内地留学）

平成10年4月 関西医科大学大学院 病理学第二講座

平成14年6月 国立がんセンター 東病院 チーズレジデント

平成15年6月 国立がんセンター 研究所 病理部 第二組織病理研究室 中央病院併任

平成17年10月 国立がんセンター中央病院病理科医員

平成20年8月 M.D Anderson Cancer Center 病理部（Moran教授）留学

平成21年9月 国立がんセンター中央病院復職

平成23年4月 国立がんセンター中央病院病理科 医長

平成27年4月 関西医科大学 病態検査学講座 主任教授

●所属学会

日本病理学会、日本臨床細胞学会、日本臨床検査医学会、日本肺癌学会、International Association for the Study of Lung Cancer

●評議員

日本呼吸器学会、日本肺癌学会

●認定医・専門医

日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会専門医、日本臨床検査医学会 管理医

附属枚方病院
呼吸器外科診療教授
（4月1日着任）
村川 知弘
（ムラカミ トモヒロ）



完全鏡視下手術という積極的な治療選択を。

完全鏡視下手術は肺がんに対する肺葉切除・リンパ節郭清にも応用されています。根治性を維持しつつ、かつ痛みが少なく術後の回復が早い低侵襲での手術です。これまで同様に完全鏡視下手術を積極的に取り入れていくとともに、世界の医療から得られた最新の知見を、地域医療へ還元していきたくと思っています。

プロフィール

●学歴

平成4年 東京大学医学部医学科 卒業

平成14年 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻修了

●職歴

平成4年 東京大学医学部附属病院外科研修医

平成14年 東京大学医学部附属病院 呼吸器外科助手

平成22年 東京大学医学部附属病院 呼吸器外科講師

平成27年 関西医科大学附属枚方病院

呼吸器外科診療教授

●主な資格

外科専門医

呼吸器外科専門医

●所属団体

日本外科学会

日本胸郭外科学会

日本呼吸器科学会

International Association for the Study of Lung Cancer

Society of Thoracic Surgeons（米国）

●専門実績

呼吸器外科専門医です。前任の齊藤幸人教授の定年退官のあとを引き継ぎ、平成27年4月1日付で関西医科大学附属枚方病院へ診療教授として赴任してきました。呼吸器外科医の担当する領域は心臓・食道を除く胸郭内臓器の手術であり、特に肺癌手術の担当が重要な役割となります。私は現代の呼吸器外科専門医として、完全鏡視下手術のような低侵襲手術から拡大手術まで幅広く対応してきました。約120万人の人口を抱える北河内医療圏の呼吸器外科診療の一角となるべく尽力したいと存じます。